

2019年度日本海洋学会第1回幹事会議事録

日時:2019年5月18日(土)13:30~18:10

場所:JAMSTEC 東京事務所 共用会議室 B

出席者:神田会長、伊藤副会長、安藤、梅澤、江淵(Web 利用)、岡(Web 利用)、乙坂、帰山、川合、北出、高橋、西部、三角、安田、安中、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

議題

1. 議事録(案)承認(北出幹事)

2018年度第6回幹事会の議事録(案)について確認し、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡幹事)

2019年2月~3月の退会者(118名)と入会者(2名)を承認した。2019年3月末時点の会員数は、1469名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡幹事)

後援・協賛等について3件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(岡幹事)

公募・推薦9件、シンポジウム・講演等1件、その他4件の依頼があり、学会メーリングリストにて配信した旨、報告があった。

(4) 2019年若手海外渡航援助(前期)について(伊藤副会長)

8件の応募があり、2件に各10万円ずつ援助を行うことが承認された。

(5) JO 編集委員の交代について(江淵編集委員長)

JOの編集委員の交代について審議され、承認された。

(6) 海洋観測ガイドライン編集委員会予算について(乙坂編集委員長)

海洋観測ガイドライン編集委員会の予算について審議され、承認された。

(7) 2019年度秋季大会におけるシンポジウム等の申請案件について(西部幹事)

申請のあったシンポジウム4件、ナイトセッション4件、イベント4件について承認された。

(8) 2019年若手集会助成募集要項について(伊藤副会長)

募集要項について確認し、承認した。2016年から2018年までの助成の実施状況を確認した。

(9) 2018 年度事業報告について(岡幹事)

2018 年度に実施した 12 件の事業について報告され、承認された。

(10) 2019 年度事業計画について(岡幹事)

2019 年度計画している 11 件の事業案について報告され、承認された。

(11) 2018 年度決算および 2019 年度予算について(安田幹事)

2018 年度決算案および 2019 年度予算案について報告され、承認された。

(12) 会費 3 年未納者について(岡幹事)

会費 3 年未納者(54 名)が報告され、担当する幹事を決めて該当者へ連絡・確認することとなった。

(13) 2019 年度春季評議員会及び総会議事次第について(岡幹事)

2019 年度春季評議員会および総会議事次第案について報告され、承認された。

3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

- ・ 会長所信表明として、主に、若手研究者の確保、海洋分野で必要な船舶等のインフラ整備と支援、法人化を目指した安定した運営をしていけるように努めたいとの意向が示され、詳細はニュースレターに記載予定である旨報告された。
- ・ 海洋学会のウェブページの沿革をアップデートしたこと、2021 年の創立 80 周年に向けて情報を整理していく必要があること、研究者に船舶を紹介することを目的として「海洋調査研究プラットフォーム」が設立され、海洋学会に協力の依頼があったため、出来るだけサポートしたいこと、JpGU2019 においてマスタープラン提案の発表会があること、文部科学大臣表彰に会員を推薦していくこと等が報告された。

(2) 副会長(伊藤副会長)

学会動向についての情報について、まとめたものを評議員会および総会で報告する旨、報告された。

(3) 研究発表(西部幹事・川合幹事)

- ・ 2018 年度秋季大会の実施について報告された。
- ・ 2019 年度秋季大会の日程及び進捗状況、提案セッションについて報告された。
- ・ 今後の大会の開催予定について報告された。

(4) 編集

① JO(江淵編集委員長)

- ・ JO(Vol.73(1)から Vol.75(3))の発行状況、投稿・受理状況について報告があった。
- ・ 生物担当の海外編集委員の補充が必要であること、投稿数を増やす取り組みが必要であることが述べられた。

② 海の研究(吉田編集委員長)

- ・ 海の研究(第27巻3号から第28巻2号)の発行状況、投稿・受理状況について報告があった。

③ ニュースレター(安藤編集委員長)

- ・ JOS ニュースレター(第8巻1号から第8巻4号まで)の発行状況について報告があった。

(5) 広報委員会(安中幹事)

- ・ 科学技術館 海の企画展への協力、出前授業、JpGU でのブース展示、秋季大会での広報活動の予定についての報告があった。
- ・ 東日本大震災の際に開設した海洋学会のツイッターアカウントについて使用状況が報告され、閉じる方向で調整することになった。

(6) 海洋環境委員会(梅澤委員長)

- ・ 青い海助成事業の一般提案型の応募が0件であったことが報告された。
- ・ 緊急提案型の募集について7月にメーリングリストで告知することが報告された。
- ・ 委員の委嘱の状況について報告された。

(7) 海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂編集委員長)

- ・ 海洋観測ガイドラインの編集状況について報告された。
- ・ 2019年度中に、英文第4版を発行予定であることが報告された。

(8) 海洋環境問題研究会(梅澤研究会会長)

- ・ 2018年度の事業報告、2019年度の活動予定について報告された。
- ・ JpGU 期間中に研究会総会を開催することが報告された。
- ・ 梅澤研究会会長が JpGU のパブリックセッション「激甚化する風水害にどう対応するか」において招待講演を行うことが報告された。

(9) 教育問題研究会(安中幹事)

研究会会長が交替予定である旨報告され、評議員会において審議されることが確認された。

(10) 海洋生物学研究会(西部幹事)

- ・ 2019年度の活動計画、会員動向について報告された。
- ・ 海洋生物シンポジウム2019が3月23～24日に東京海洋大学で開催されたことが報告され、

開催時に実施したアンケートの結果等が報告された。

(11) 日本地球惑星科学連合(川合幹事)

- ・ JpGU 期間中に開かれる委員会で使用する会議室について、打合せ等で相部屋利用できるようにしてはどうかという提案がされ、メーリングリストで希望者を募ることになった。
- ・ JpGU のユニオンセッションで地球惑星科学に関するマスタープランを紹介するセッションが開かれ、海洋学会のマスタープランも発表されることが報告された。
- ・ JpGU 環境災害担当委員について、小笠前幹事に替わり北出幹事が引き継ぐことになった。

(12) 日本海洋科学振興財団(神田会長)

6月上旬に副会長と共に財団に挨拶に行く予定であることが報告された。

(13) 将来構想(岡幹事)

秋季大会開催時にシンポジウムを開催し、マスタープランの紹介および将来構想について議論する予定であることが紹介された。

(14) 男女共同参画(安中幹事)

女子中高生、夏の学校(8月10日開催)においてブース展示をする予定であることが報告された。

(15) その他

・他学会の会員動向(伊藤副会長)

日本海洋学会の会員数の推移と他学会との比較について報告され、今後の対応について幹事会において引き続き検討していくことが確認された。

・SCOR との合同シンポジウムについて(安藤幹事)

秋季大会前に行われる SCOR-海洋学会合同シンポジウム「日本の海洋科学:現在と将来」の開催概要、進捗状況について報告された。

・80周年ワーキンググループについて(伊藤副会長)

80周年記念事業について、今後ワーキンググループを立ちあげ、検討していくことが確認された。80周年となる2021年は、東日本大震災から10年となるため、震災関連のとりまとめに関することも含め検討する必要があることが報告された。

以上